

■日時 平成30年8月18日(土) ■天候 晴れ

日本ウェルネス高等学校 通信制 対 天理高等学校

■球場 明治神宮野球場 第試合 回戦 決勝戦 ■試合時間 1時間49分 ■備考

■審判 球審:大和重徳 塁審:竹本裕一 仲田啓介 松山正二

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9					計	安	失
日本ウェルネス・通	東京2	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	1	2
天理	近畿・奈良	2	4	1	1	2	3	1	2	x					16	17	0

日本ウェルネス・通

	ポジション		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	投	遊	津澤拓実	4	0	0	0	二ゴ		遊飛			一ゴ			中飛				
2	二		小松拓毅	4	0	0	0	投ゴ		三振			三併			三ゴ				
3	一		坂元レオ	2	0	0	0	四球			投ゴ			一ゴ						
4	遊	三	中山隼	3	0	0	0	一飛			右飛			左飛						
5	中		大城海人	3	0	0	0		三振		左飛			三振						
6	捕	左	東龍	3	0	0	0		遊ゴ			三振			三ゴ					
7	左	捕	富山義士	2	0	0	0		四球			左飛			二飛					
8	右		金木脩祐	1	0	0	0		一ゴ											
8	右		老田翔	2	0	0	0					三振			三振					
9	三	投	南馬僚介	3	0	1	0			遊直			中安		左邪					
合計				27	0	1	0	残塁:2 併殺:1												
				備考																

■バッテリー

投手
津澤拓実
南馬僚介

捕手
東龍
富山義士

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
津澤拓実	3	21	8	0	3	7
南馬僚介	5	29	9	0	7	4

天理

	ポジション		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	中		窪田正喜	5	2	3	1	中2	左安		二ゴ	二飛	左安							
1	投		堀部陸	0	0	0	0									二ゴ				
1	打		清水勇人	1	0	0	0													
1	右		椿井友哉	0	0	0	0													
2	右	中	平野雄大	1	2	0	0	投犠	中飛		四球	四球	四球		四球					
3	三	遊	岡田民生	5	2	4	4	四球	中3		中安	中安	遊飛		三安					
4	左		森口信宏	5	1	2	3	左2	遊飛		左直	中飛		四球	中安					
5	遊		片山幸輔	3	0	0	0	捕犠	投ゴ		四球		一ゴ	一ゴ						
5	三		西川道男	1	0	0	0								投ゴ					
6	一		浅見紫歌	3	2	1	0	二飛		四球	三ゴ		左安							
6	打		高柳枝理	1	0	1	0								三安					
6	一		内山理弘	0	0	0	0													
7	投	中	伊藤慎介	4	2	2	0		四球	投ゴ		左2	左安	遊ゴ						
8	二		邊田三嗣	4	3	3	3		左安	一ゴ		四球	中安	左2						
9	捕		原田成人	5	2	1	1		中安	遊ゴ		遊ゴ	遊ゴ		三ゴ					
合計				38	16	17	12	残塁:10 併殺:0												
				備考																

■バッテリー

投手
伊藤慎介
堀部陸

捕手
原田成人

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
伊藤慎介	7	23	1	4	2	0
堀部陸	2	6	0	2	0	0

■戦評

15日の開幕から連日の猛暑の中、熱戦が繰り広げられた平成30年度全国高等学校定時制通信制軟式野球大会も、連覇を狙い順当に勝ち抜いてきた奈良県代表の天理高校と初出場ながら東京都の代表としての実力を発揮し勝ち抜いてきたウェルネス高校の間で今年度の頂点を争うことになった。1回裏の天理の攻撃は、先頭打者窪田の二塁打と四球の走者を置いたところで4番森田の左翼二塁打で2点を先取る。さらに2回裏には四球の走者を置いて三連打などと3番岡田の三塁打で、この回4点を追加する。天理はその後も毎回着実に得点を重ね9回までに16点を獲得した。一方のウェルネスは、天理主戦の伊藤の伸びのある直球と切れのある変化球に5回まで無安打に抑え込まれてしまい、ようやく9番南馬の中堅手前安打を放ち反撃の狼煙を上げると思われたが後続を断たれて得点に結びつけられることができなかった。天理の伊藤・堀部の両投手はウェルネスを1安打に抑える完璧な投球によって12回目の優勝を成し遂げることとなった。